

# 2022年10月度 中部品質工学研究会 議事録

1. 開催日時 2022/10/1 (土) 10:00~17:00
2. 開催場所 Teamsを用いてのリモート(オンライン)
3. 会員参加者<敬称略> S: オンサイト出席・L: オンライン出席、欠: 欠席、書: 書記、休: 休会

大見	L	牧野	L	横尾	S	城越	L	合田	L	伊藤	L	舟山	L	出島	L
福田	書	水田	S	山中	L	山口(展)	L	黒田	S	鈴木	L	古谷	L	池田	L
三浦	L	山口(直)	L	岡本専務	L	北村局長	休								
小西	休	中山	休	李	休	河合	休	則尾	休	杉浦	休				

## 4. 研究会内容

### 1) 輪講「縦型射出成型機におけるホッパー形状の最適化」(山口(直))

確認実験で利得が再現しなかった場合の対応方法の一つとして分割型SN比が提案されている。分割型SN比を求めると再現する場合もあるが、やはり実験のどこかに誤りがあるので再現しないと考えるべきとの議論があった。

### 2) 振動解析を中心した疑問点 (黒田)

弊社の搬送機器の部品に関する故障診断を目的として振動解析に取り組んでおり、現状行っている解析結果の報告と、精度の向上に向けてどのようなことをしたらいいかのアドバイスを頂いた。  
今後は振動生データ(波形)を確認し、異常データと正常データをより詳しく見ていく。

### 3) 2n型直交表への多水準割り付け (牧野)

2n型の2水準系の直交表に、多水準を割り付ける基本について、線点図との関係を紹介した。又、直交表の拡大方法(2n型、3n型)や、ペイリー型、ウィリアムソン型の直交表の種類について、紹介した。

### 4) Slackの操作説明 (山口(展))

- ・スレッドの使い方
- ・ダイレクトメッセージとチャンネル投稿の違い
- ・スタンプでのリアクションなどを説明した。

### 5) 10/19業務改善事例発表会報告内容最終検討 (山口(展))

- ・改善ストーリーの確認と、pptスライドの表現についてアドバイスをいただいた。
- ・発表にむけて、多変量管理図との違いや重回帰式の変数選択の理由など質疑応答の準備をする。

### 6) 事務局連絡

- ・研究会の時間  
現地参加の人数が増えた場合は10:00~16:00に戻す。
- ・講演会  
11月5日 関西太田さん テーマ「パラメータ設計の真意」、2時間半程度。  
12月3日 細川さん 商品開発プロセス研究会成果物「開発の為にT7」の紹介 2時間程度。  
2月4日 山田秀先生 「実験計画法」の説明、擬因子法や擬水準法など多水準系の話も依頼する。  
3月4日 田口伸先生 大砲実験の演習と山登り法を依頼する。
- ・業務改善事例発表大会  
積極的に参加すること。参加申し込みの締め切りは10月5日。それ以降の申し込みは岡本専務に連絡すること。